

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 雅歌 8:6 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- \*賛美 …… 9番 聖なる、聖なる、聖なるかな
- \*交読文 …… 33番
- \*使徒信条 …… 会衆一同
- \*頌栄 …… 174番 神の息よ
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:朴執事 天声:小林 伝道師
- 聖餐式 …… 281番
- メッセージ …… 最高の歌とは(雅歌 1:1-4)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 …… 499番 ばらの露いまだ
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 …… 次週主日の午後は、成田エクレシアとの合同礼拝のため、14時からの横浜天声の午後礼拝は、ありません。
- \*主の祈り …… 会衆一同
- \*祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

\_\_\_\_の心はうるわしい言葉であふれる。\_\_\_\_は王についてよんだ\_\_\_\_の詩を語る。\_\_\_\_の舌はすみやかに物書く人の筆のようだ。\_\_\_\_は人の子らにまさって麗しく、気品がその唇に注がれている。このゆえに神はとこしえに\_\_\_\_を祝福された…。

\_\_\_\_の衣はみな没薬、芦荟、肉桂で、良い香りを放っている。琴の音は象牙の殿から出て、\_\_\_\_を喜ばせる…。娘よ、聞け、かえりみて耳を傾けよ。\_\_\_\_の民と、\_\_\_\_の父の家とを忘れよ。王は\_\_\_\_のうるわしさを慕うであろう。彼は\_\_\_\_の主であるから、彼を伏しおがめ…。

\_\_\_\_は殿のうちで栄えをきわめ、こがねを織り込んだ衣を着飾っている。\_\_\_\_は縫い取りした衣を着て王のもとに導かれ、その供びとなるおとめらは\_\_\_\_に従ってその行列にある。\_\_\_\_は喜びと楽しみとをもって導かれ行き、王の宮殿にはいる。

\_\_\_\_の子らは父祖に代って立ち、\_\_\_\_は彼らを全地に君とするであろう。\_\_\_\_は\_\_\_\_の名をよろず代におぼえさせる。このゆえにもろもろの民は世々かぎりなく\_\_\_\_をほめたたえるであろう。(詩篇 45 篇)

雅歌(シール・ハ・シーリーム)の原意は、「歌たちの中の歌」。その、数ある歌たちの中でも最高の歌・雅歌の内容は、花婿と花嫁が呼び交わす愛の掛け合いだ。真理が示す最高の歌の内容とは、花婿と花嫁の愛の呼び交わし…。それ故、聖書を知らない人々が創る歌も、無意識的に、大半が男女の愛の歌となる。高音・低音の強弱の組み合わせの一連の流れである「メロディ」は、ある種の感情を呼び覚ます。動物や昆虫は、鳴く事で、すなわち、メロディを発する事で、求愛や警告などの表現をするが、彼らは実は、主に向かってメロディをあげているのだ。『鳥の子が神に向かって鳴き叫び、食物がなくてさまようとき、鳥にえさを備えるのは誰か。』(ヨブ記 38:41) 詩篇 148 篇をみると、海の巨獣も、淵も、火も、雹も、雪も、煙も、御言葉を行なう嵐も、御使いも、日も、月も、天の天も、主を褒め称えよ(הללハラル)、と命じている。ハラルは「ほめたたえる、自慢する」意味、すなわち「ハレルヤ」は「主をほめたたえる、主を自慢する」事である。

全地は、主に向かって、喜びの声をあげる(詩篇 100:1)。私達が住んでいる地の基が据えられた当初、宇宙は歌で満ちていた。『わたしが地の基を定めたとき、…そのとき、明けの星々が共に喜び歌い、神の子達はみな喜び叫んだ。』(ヨブ記 38:4-7) この「明けの星々」の中に、反逆前のサタンもいた。『嘘の子、明けの明星(לוליהヘイレル)よ。どうしてあなたは天から落ちたのか。』(イザヤ 14:12) ヘイレルは、ハラルのように「賛美する者」の意味がある。サタンは、元々、神を賛美する天使の長で、全き者の典型、美の極みだったが(エゼキエル 28:12)、「あなたは自分の美しさのために心高ぶり、その輝きのために自分の知恵を汚したゆえに、わたしはあなたを地に投げうち、王たちの前に置いて見せ物とした。」(同 17 節) 「歌」は本来、主をハラルするものなのに、サタンは歌を、自分をハラルする道具とした故に、投げ落とされた。自分をハラルするために歌手になりたがる人が多いが、それはヘイレル(サタン)の道である。

人が歌う歌の中で、最も優れている歌は、まことの花婿であられるキリストへ花嫁として捧げる愛の歌、すなわち賛美である。被造物はメロディを発して主をほめたたえるが、意思と言葉をもって、主をほめたたえる事が出来る。唯一の存在は、人間だけだ。だから主は、私達が愛の歌を主に歌う事を求めておられる。『どうか、あなたの口の口づけをもって、わたしに口づけしてください。あなたの愛はぶどう酒にまさり』(雅歌 1:2) この「口づけ(ナーカシュ)」は、結びつける、(武器などを)装着する意味である。私たちはキリストの花嫁として、キリストを装着して一体化したい、と思うのは、自然である。彼の愛は、ぶどう酒よりはるかに優れた心地良さだ。彼を愛する心をもって、「イエス様」と呼ぶたびに、彼の麗しさ、甘さが、香り高い香油のように、喜ばしさを伴って、心に満ち満ちていく。全てキリストにある者は、その感覚を共有できるはずだ。『あなたのあとについて、行かせてください。わたしたちは急いでまいりましょう。』(雅歌 1:4a) ここに、私達とキリストとの正しい位置関係が記されている。私たちはイエス様のあとを従って行くものであり、決してその逆ではない。うるわしい主が行くなら、私達は離れず、急いでついていく。そして、彼が願われる事を私達は行い、彼が望まない事を、私達はしない。それが花嫁たる私達の正しい歩みであり、その歩みをするなら、イエス様は私たちを「奥の間」へとエスコートし、そこで親密な愛の交わりへと導いて下さる。

『王は私を奥の間に連れて行かれました。私たちはあなたによって楽しみ喜び、あなたの愛をぶどう酒にまさってほめたたえ、真心からあなたを愛しています。』(1:4b) ここの「楽しみ」と訳されたヘブライ語ギール(あるいはグル)は、元の意味は「くるくる回る」、つまり嬉しさのあまりに、踊り回る事で、また「喜び」と訳されたヘブライ語サマハ(ク)は、顔がば一つと輝く様をあらわしている。ちょうど子犬が、大好きな主人に会った時にびよんびよん飛び跳ね、くるくる回って喜び叫ぶような感じである。私達キリスト者が、キリストにエスコートされ、奥の間の交わりへと導かれて行く時、そのような感覚である。

私達にとって奥の間は、どこか。そこは神を礼拝する神聖な所だ。神殿や幕屋には、至聖所と呼ばれる「奥の間」があり、そこは絶対的に聖なる場所で、罪ある人は決して入れない。しかしイエス様は、十字架の上でご自身のからだを裂いて、奥の間へ、すなわち天国への道を開いて下さって、私達をエスコートして下さいました。私達はイエス様の愛の十字架により、主との親密な交わりをする奥の間へと導かれて行くゆえ、喜び(サマハ)、楽しみ(ギール)つつ、永遠に彼に愛の歌を捧げるのである。

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

#### 主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 賛美 10:30 礼拝 11:00  
食事/フェローシップ 12:30～  
English Service 14:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
火～木 夜の祈祷会 19:30～

#### 水曜礼拝

1部 13:00～  
2部 19:30～  
金曜徹夜祈祷会 21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

### アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！

〒231-0058 パスター: 林和也 川合ゆきえ  
神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201  
TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>  
email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



YouTube